

被災地ボランティア報告

あの未曾有の大災害から半年、今、被災地の様子をこの目と手で確かめたい。8月、せきたてられるような気持ちで岩手県へボランティアとして行ってきました。

バス移動で車中泊をして、倉敷市の支援拠点がある遠野市へ。そこでボランティア登録をして被災地である大槌町と陸前高田へ派遣されました。



大槌町は津波に役場ごと流されてしまい、町長はじめ多くの職員の命が失われた悲劇の町です。与えられた仕事は「草取り」です。しかし、その草の量が半端なかった。刈っても刈っても終わらない。ありがたかったのはずっと雨が降っていたこと。炎天下の下では熱中症を起こして倒れていたかもしれない。ずぶぬれになりながら雑草を刈って作った道を見る充実感は格別でした。夜はそのままボランティアセンターで雑魚寝。翌日は陸前高田へ行きました。陸前高田は大津波に襲われ、た

った1本残った「奇跡の一本松」がマスコミを騒がせています。陸前高田での仕事は「ガレキ撤去」です。車のような大物はなかったものの、まだまだガレキが山のように残っています。2人1組になって車のホイールタイヤ・割れた皿などの日用雑貨など運び出しますが、全然終わらない。土の中からどんどん出てくるのです。

重い体を引きずるようにボランティア拠点に戻ると、思いがけなく1杯のお茶をいただきました。まさに甘露。こんなにおいしいお茶は初めてです。他のボランティアの皆さんの顔も穏やかです。これが被災地の今ののだと感じました。問題も山積みであるけれど、人々の力と信念で復興に向けて着実に前に進んでいるのだと実感しました。やはり来てよかった。わずかな時間ですが、この地に立って日本の底力を信じていることが出来ました。また同時にこの経験を決して忘れず、倉敷の皆様にお伝えしていく責任も感じます。一刻も早い復興を祈りつつ、帰途へ。

汐入川遊水地の浚渫や排水機場整備などの浸水対策事業費、新設分団消防機庫建設整備事業費、消防救急デジタル無線整備事業費などを計上しました。また、国の緊急雇用創出事業交付金を活用し、求職求人支援事業費や介護従事者人材育成支援事業費など、就業に必要な知識・技術の習得により、次の雇用に結びつける事業に積極的に取り組むこととしました。

あの大震災から1年が経ちました。しかし、時計の針は、津波に肉親を奪われ、放射能に故郷を追われた人たちにとっては、今も午後2時46分を指して、止まったままではないでしょうか。このような悲劇をもう二度と繰り返さないために私たちは何ができるのか、何をすべきなのか、考えずにはいられません。私たちの町、倉敷も防災計画の見直しを迫られました。ハザードマップ（津波・洪水土砂災害・地震）の大幅な見直し、防災予算は大幅アップです。おかげさまで倉敷市政としてベストに近い予算編成になったと自負しています。ですが、漠然とした不安が残る。これでいいのだろうか、大丈夫なのかと問う皆様のお声です。私はその声に大丈夫ですと言いたい。私はこれからも力いっぱい努力して、皆様のお役に立ち、この倉敷を守りたい。それが私の「使命」であると信じています。

編集後記

倉敷市議会議員 荒本竜二

竜の子新聞

市政報告
発行 あらき竜二
倉敷市川入 641-5
TEL & FAX : 086-434-8185
http://www.ryu2.biz
e-mail: info@ryu2.biz

市民の命と暮らしを守る防災対策に重点配分

平成24年度一般会計当初予算

倉敷市議会は、2月定例会倉敷市議会が開会され（平成24年2月21日～3月16日）平成23年度一般会計補正予算案1.8億2,700万円など、18議案と平成24年度一般会計当初予算案1,616億1,300万円など、49議案を原案通り可決しました。平成24年度の当初予算は、「倉敷市第六次総合計画」の着実な推進を基本としながらも、平成24年度初頭の市長選挙の関係で新規事業を抑えた、骨格予算として編成しました。

費などは、必要な経費として位置づけ当初予算に計上しました。歳入は、市税収入について、固定資産税が評価替えの年度となることや市民税法人分が円高などに伴う企業業績の低迷により落ち込むものの、給与所得の増加や税制改正の影響により市民税個人分が増額となるため、全体では、前年度当初予算と比較して約1億5千万円の増額を見込んでいます。歳出におきましては、まず、防災対策事業として、小・中学校校舎耐震化事業費、小学校校舎建替事業費、津波ハザードマップや洪水・土砂災害ハザードマップを作成するための経費、

当日は心配した天候の崩れもなく、各自持参した長靴を履きスコップを手にもった冷たい川の中に入りました。倉敷みらい公園はチボリ公園跡地に作られた私たちの新しい公園です。その川に図鑑でしか見たことのないホタルが生息する！それも私たちの住む市街地のすぐ近くにあります。これは自然が守られ水がきれいだという証です。生息地として定着させるまでに3年程度を見込んでいますが、今年の6月には美しい光の舞が見られるはずですよ。

当日は心配した天候の崩れもなく、各自持参した長靴を履きスコップを手にもった冷たい川の中に入りました。倉敷みらい公園はチボリ公園跡地に作られた私たちの新しい公園です。その川に図鑑でしか見たことのないホタルが生息する！それも私たちの住む市街地のすぐ近くにあります。これは自然が守られ水がきれいだという証です。生息地として定着させるまでに3年程度を見込んでいますが、今年の6月には美しい光の舞が見られるはずですよ。

「50万都市の駅から徒歩1分の地にホタルが舞う日本てだひとつの公園を倉敷に」

「50万都市の駅から徒歩1分の地にホタルが舞う日本てだひとつの公園を倉敷に」2月11日、土曜日、倉敷みらい公園内倉敷用水路において、約20名のプロジェクトの皆様とリーダーの井上会長とともにゲンジボタル・ヘイケボタルの放流を行いました。



私たちは今後とも月1回の用水清掃などを通して、ホタルの成長を見守り続けます！目標は3年後の「ホタル公園」です！

当初予算の主な事業

- 〔総務費〕
 - ・ハザードマップ作成… 1, 153万円
- 〔民生費〕
 - ・介護従事者人材育成支援… 1億2, 144万円
 - ・発達障害者支援体制整備… 1, 106万円
 - ・子育てcafe開催など子育て力向上事業… 70万円
 - ・子どものための手当給付… 91億3, 124万円
 - ・放課後児童クラブ実施… 3億7, 727万円
 - ・児童虐待防止… 1, 638万円
 - ・保育所への障害児保育アドバイザー派遣… 234万円
 - 〔新規〕 父子家庭児童福祉資金貸付… 138万円
 - 〔衛生費〕
 - ・子宮頸がんなどのワクチン接種助成… 5億1, 441万円
 - ・70歳以上の高齢者の成人用肺炎球菌ワクチン接種助成… 3, 853万円
 - ・入院・通院とも小学6年まで対象の子ども医療費助成… 21億4, 957万円

- ・妊婦乳児健診… 5億3, 053万円
- 〔新規〕 環境学習センター運営… 1, 201万円
- 〔労働費〕
 - 〔新規〕 求職求人支援… 3, 473万円
 - 〔農林水産業費〕
 - ・農作物鳥獣害防止… 2, 688万円
 - ・新規就業サポート… 1, 952万円
 - 〔商工費〕
 - 〔新規〕 学生服市場拡大促進… 791万円
 - 〔新規〕 新商品開発などの地元産品等活用促進… 1, 183万円
 - ・がんばる中小企業応援事業… 2, 000万円
 - ・倉敷屏風祭開催などの中心市街地活性化… 2, 101万円
 - 〔土木費〕
 - ・倉敷駅前東土地区画整理… 3億5, 937万円
 - ・倉敷駅周辺第二土地区画整理… 5億6, 524万円
 - ・高梁川新架橋建設… 21億6, 548万円
 - ・排水機場整備などの浸水対策… 6億1, 600万円

- 〔消防費〕
 - ・消防救急デジタル無線整備… 10億5, 576万円
 - ・福田北分団の消防機庫建設整備… 1, 473万円
- 〔教育費〕
 - ・不登校児童・生徒の自立支援をするふれあい教室… 4, 979万円
 - ・専門家が対処方策を助言する学校問題支援プロジェクト… 1, 034万円
 - ・スクールカウンセラー等配置… 1, 443万円
 - ・小・中学校校舎耐震化… 18億3, 703万円
 - ・小学校校舎建替… 4億423万円
 - ・30人以上の学級に支援員を配置する小1グッドスタート延長… 4, 077万円



文教委員会報告

学校、コミュニティ、家庭が連携して、子どもの健全育成を推進する

平成22年度の文科省調査が翌年8月に発表されました。岡山県は小中高生の暴力行為、小学校の不登校の発生率がともに全国の都道府県でワースト1という結果でした。

あらかぎ竜二は、平成21年度から倉敷市議会文教委員会の副委員長として倉敷市内の幼小中学校を訪問し、学校園教育について様々な事を感じ取ってきました。

それは少子化や核家族化が進んでいることや完全学校週5日制になったことなど、子どもたちを取り巻く社会環境が急激に変化していますが、だからこそ、教育の第一義的責任は家庭にあるという事です。

そして、家庭・学校園だけでなく、地域や企業がそれぞれ協力し合い、次代の社会を担う子どもたちを育てなければならぬ時期に来ているのではないのでしょうか。

倉敷市内の学校園における現状を把握

平成21年度から、あらかぎ竜二ら文教委員会メンバーは、倉敷市内の中学校26校、小学校3校に視察を行い、一部の生徒による授業の妨害や服装の乱れなど、多々の問題を目にしました。また、報告によると同問題が市内ほぼすべての小・中学校で起きているとの事です。文教委員会として、教育委員や学校関係者と話し合いを重ね、幼小中学校園における教育の連携を行う事が重要であると、相互の理解を得ました。

他都県での教育施策に関し、行政視察を実施

平成22年3月
東京都台東区議会へ訪問
調査項目：「台東区における心の教育」

平成22年7月
秋田県秋田市議会へ訪問
調査項目：「平成22年度秋田市学校教育の重点」

平成22年12月
福井県福井市議会へ訪問
調査項目：「福井市教育支援プラン」

平成23年7月
愛知県犬山市議会へ訪問
調査項目：「全国学力テストへ参加しない選択」

平成23年7月
滋賀県草津市議会へ訪問
調査項目：「ICT(電子黒板)機器を活用した授業」

平成23年10月
東京都三鷹市教育委員会へ訪問
調査項目：「コミュニティ・スクール及び小・中一貫教育について」

平成23年11月
倉敷教育委員との懇談会開催

平成24年2月
香川県高松市議会へ訪問
調査項目：「コミュニティセンターについて」

平成24年2月
愛媛県松山市議会へ訪問
調査項目：「子ども育成条例について(第4条保護者の役割)」

「学校問題支援プロジェクト事業」

あらかぎ竜二ら文教委員会は、平成23年度新規事業として、1千万円の予算を組み、学校問題支援プロジェクト事業を4月からスタートさせました。このプロジェクトメンバーは、各分野の専門家たちで構成されています。まず、市南部エリアの小学校9校、中学校3校から相談の依頼があり専門家の協議を経て9月から小学校へ5名、中学校に2名の支援員が派遣されました。報告によると、生徒の落ち着きが見られ授業の妨害も減ったとの事です。

ですが、まだまだ十分に制度を活用されていないのが現状です。

多くの保護者の方からプロジェクトを活用して欲しいという声を聞いておりますが、学校園長の意向によって活用しないケースもあります。

学校園内の乱れが顕著な所では、市教育委員会の指導力を発揮し、このプロジェクトをぜひ活用していただくよう、期待しています。

平成24年度に向け、「倉敷市教育振興基本計画」の発表

現在、倉敷市教育委員会では「倉敷市教育振興基本計画(案)」を作成しております。

「学校・コミュニティ・家庭が連携して子どもの健全育成を推進する」という我々が目指す思いも盛り込まれており、活動の成果が垣間見れる計画となっております。

しかし、「第一義的責任は家庭にある」という文教委員会の思いに関しては、十分に踏み込まれていません。

今後はこの基本計画に関して、我々文教委員会によって読み込みを行い、必要に応じて修正を要請する考えです。

また、あらかぎ竜二は、保健福祉局から施行される「倉敷市子ども条例」に関し、大人の役割をより明確にするよう示唆しました。それにより、第3章大人の役割の第6条が付け加えられることとなりました。